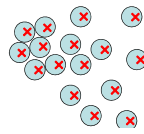
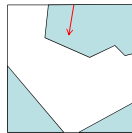


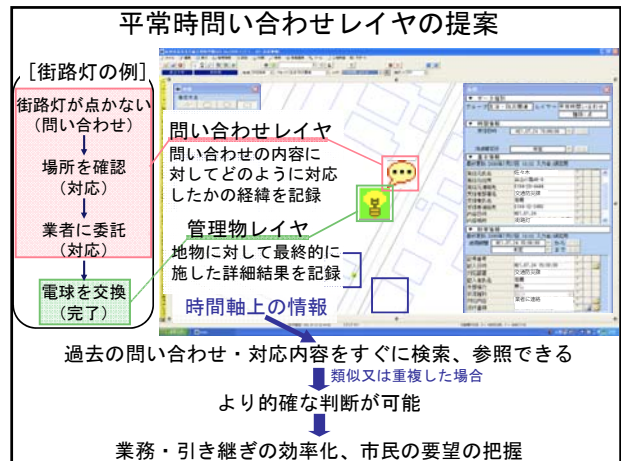
災害情報収集の進め方

- 部分から全体を見出す方法
 - 足し算の処理
 - 通報情報の集積
 - 情報のある場所への対応



- 全体から部分を見出す方法
 - 引き算の処理
 - ローラー作戦による集計
 - 情報のない場所への対応





平常時間問い合わせ内容の例

- 街路灯
- 騒音
- 野焼き
- 不法投棄
- 動物の死骸
- カーブミラー
- .
- .

平常時
問合せ・要望情報カードの例
災害時

問合せ番号	問合せ内容	担当者	受付日時	完了日時	ステータス
001	街路灯の点灯確認	田中	2023/07/10	2023/07/11	完了
002	騒音対策	佐藤	2023/07/12	2023/07/15	完了
003	野焼きの許可申請	鈴木	2023/07/13	2023/07/18	完了
004	不法投棄の報告	高橋	2023/07/14	2023/07/16	完了
005	動物の死骸の発見	渡辺	2023/07/15	2023/07/17	完了
006	カーブミラーの設置	山本	2023/07/16	2023/07/19	完了

不法投棄の苦情内容の情報カードへの記入例

【受信】
窓口で「空き地に少し前からナンバープレートの無い車があり、邪魔だから撤去してほしい」との連絡が入る。

【対応1】
担当者が現場に行く。

【対応2】
業者に依頼して自動車を撤去する。

自治体職員との意見交換

場所：由利本荘市本庁

参加者：由利本荘市職員6名

内容：平常時情報処理ツールの紹介

- 平常時にも災害時と同じような形式で情報処理することは大変意義がある
- 情報処理カードの利便性に加え、共通認識を持って記入出来るので、すぐにでも業務で使える
- 問い合わせ内容をシステムに入力すること → 災害時に備えるために有効

今後 ↓

問い合わせデータを蓄積することの効果運用結果により検証
→ 災害時にも迅速且つ円滑な情報処理が実現

まとめ

災害時の被災情報収集業務との連続性を意識した平常時用問い合わせ・要望対応レイヤと情報カードを提案した。

平常時の問い合わせや要望等に対する情報カードを全庁で統一したフォーマットで持つことは、聞き漏らしの防止や横の情報連携への有効性が期待される。現在、由利本荘市生活環境課にてテスト的に実業務の中で使用している。

自治体業務を「過程」と「結果」、及び「望ましいものを導入する段階」と「望ましくないものを排除する段階」で四種類に分割し、業務への適用方法を検討するためのチャートとして提案した。

今後、全職員を対象とした使用状況のアンケート調査や図上防災訓練の成果を通して有効性を確認する。

補足：個別システムから全庁統合型時空間GISに意識が移るポイント

- 自分のやらなくてはいけない業務が上手く出来さえすれば良い
 - 共用データに一切寄与しない個別システムまたは紙ベースのみ
- 他の部署のためになり、自分の担当業務についても将来の担当者に役立つ
 - 全庁統合型時空間GISの汎用共通アプリケーション（+専用機能）による利用促進